



あったかウェルねっと

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっとニュース 第12号

2009年12月15日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

あったかウェルねっと 平成21年度総会及び学習会

平成 21年 5月 9日 10:00~15:45

彩の国すこやかプラザ研修室にて「平成 21年度あったかウェルねっと学習会&総会」が開催されました。(参加者 40名)



議長 初雁さん

あったかウェルねっとは、今年で9年目になります。世話人の尾崎さんが司会を、議事進行を初雁さんが担当しました。

お昼の交流タイムを挟んだあとは、2008年度総会後の「学習会」に引き続き、今年度は「自分らしく生きる PART2」を実施しました。

地域での「福祉」を身近なもの、幅広いものと捉えて、誰もが地域で「自分らしく生きる力」を培っていけるよう、様々な関わり合いについて学び、これからの福祉教育・ボランティア学習の推進に役立てることを狙いに行っています。

講師は、地元坂戸でもご活躍されているお二人、第1期推進員の横田八枝子さんと第3期推進員の須田正子さんです。

テーマは「福祉教育とマイケアプラン」

坂戸ボランティアとしての活躍やご自身の体験も交えてお話しいただきました。

参加者の感想

☆須田さんの「介護のある暮らしを経験して」は、本当に義父母を介護された須田



横田・須田講師 和やかな雰囲気の中で

さんに驚き、ビックリし、やはりご両親の介護を実際にした人の話は説得力があると思いました。「平均的な一週間の過ごし方」を表に書いてみたときに私はテレビの時間が多い事に気づかされました。他は買い物や散歩又は子供たちの見守り(防犯パトロール)時間です。見守りは子供達が待っていてくれるのでやりがいがあり楽しいです。(G)

☆自分を大切に思うのと同様、違いを認めて他人も大切にしなければいけない。認め合うことが共に生きる住みよい町づくりに繋がるのだと思いました。(M)

☆誰でも、将来必ず訪れる『老い』の日々をいかに迎えるか?いまから人と人とのかわりを大切にして、穏やかな残りの人生を送りたいと切に祈る気持ちです。そのためにも、今から心がけて学んでおきたい内容でした。(W)



あつたかウエルねっと ふれあいセミナー
大盛況のうちに終わる!!

だれもが楽しく
歩けるために



日 時：2009年9月12日 10：00～15：10
会 場：彩の国すこやかプラザ
参加者：57人

司会は事務局長の脇美智子さん。手話を交えた挨拶がありました。

埼玉県社会福祉協議会ボランティア市民活動センター長の小川晴司氏よりのご挨拶の中に「埼玉には約15,000人の視覚障害者がいます。埼玉という地域が目の不自由な方々にとって、安心して暮らせて安全な所であるよう、私たち一人ひとりが、それぞれの立場で努力し、実践活動の場を通じ多くの方々に伝えていく事が大切です」とあり沢山の人が大きく頷きました。

午前⇒「歩行訓練士」清水美知子さんと学ぶ



熱心に聞き入る参加者

あなたは目をつぶって今すぐ歩けますか？
難しいですね。目が見えないと足も動かないのですか？そんなことはありませんね。ではなぜ見えないと歩けないのでしょうか？行きたいところがどちらの方向かわからない、物や段差があるのがわからない、などのためですね。同じ「歩けない」と言っても、足の不自由な人が歩けないのとは理由が違います。

お昼⇒交流タイム

午後⇒アイマスク・
ガイドヘルプ体験



清水美知子氏

アイスブレイクで心を解きほぐしてから開始です。5つのグループに分かれて基本姿勢からスタートします。状況の説明や誘導の仕方・接し方のマナーなど、視覚障害者に関わらず誰にでも通じる心得などを学びました。

参加者の感想



階段でアイマスク体験

☆テーマを絞ってのセミナーは理解を深めるのに良かった。(C)
☆今までより充実した「アイマスク体験」を子供たちに伝えられると思います。(A)

☆普段、普通にやっている「歩く」ということが色々な情報で成り立っている事を清水先生のお話から学んだ。(A)

☆清水先生の「邪魔にならないガイド」心に響くものがありました。歩くことをしっかり考えていきたいです。(A)

☆自己流になりつつあるガイドでしたが、再度勉強させていただき、言葉掛けなど考えさせられました。(C)

☆清水先生のお話が大変参考になった。視覚障害者の脇に座って、視覚障害者の方は見えないけれど太陽、風、音を感じて楽しく生き生きと生活しているとわかった。(D)

☆目の不自由なかたご本人からの説明は説得力があり「なるほど」と思う部分が沢山あった。(E)

**あったかウエルねっとに
依頼された講座の紹介**

推進員は各地でそれぞれの講座を持ったりお手伝いをしてありますが、「埼玉県社会福祉協議会」を通じて、又は直接「あったかウエルねっと」へ講師派遣依頼があります。今年度の依頼の例をいくつかご紹介しましょう。

直接希望の講師名を挙げての依頼もありますが、それ以外は内容によって、適任者を「あったかウエルねっと会員」を中心に推薦しています。



★「伊奈町立北小学校 福祉教育」

…関 久子(1期)

期 日：9月15日(火)

伊奈町社会福祉協議会矢島さんの感想要約
ベテランの関さんのお話は子供をひきつけ、わかりやすい内容で、児童が楽しく参加しながら福祉について学べた。ワークショップのアイマスク体験では沢山の児童が挙手をし参加の意欲が感じられた

~*~*~*~

★「川越市ボランティア養成講座」

期 日：10/23・10/30・11/6・11/19・11/20

会 場：川越市総合福祉センターオアシス

内 容：川越市内小中学校や地域で車椅子体験・視覚障害者のアイガイド体験を支援するボランティア養成

参加者：30名

あったかウエルねっとより初日に協力

…脇 美智子(2期)

…吉田より子(5期)

川越市社会福祉協議会市民活動支援係

~*~*~*~

★「越生町社協 小学校福祉教育」

…内藤 夏子(9期)

盲導犬と一緒にの授業を という依頼でした。

~*~*~*~

★「埼玉県高校初任者研修」

今年度は、新任教員の採用が多くなり、「ねっと」からは例年よりも2組多い11名の推進員が参加しました。来年の新採用者は、もっと多くなる予想だそうです。

期 日：12月2日(水)

会 場：埼玉県総合教育センター深谷支所

参加者：高等学校初任者 140名

「福祉教育の意義と進め方」

講話担当 …尾崎 節子(1期)

「視覚障害者介助体験研修」

実習担当 …山田あつ子(2期)

…木野登紀子(2期)

…脇 美智子(2期)

…角田利栄子(4期)

…権頭美喜子(5期)

…吉田より子(5期)

…吉村 育代(6期)

…佐藤 静子(8期)

…今井 光子(8期)

…荒田 孝平(8期)

~*~*~*~

★「さいたま新都心『ふれあいプラザ』研修会」

期 日：2010年1月27日(水)

会 場：さいたま新都心ふれあいプラザ

内 容：「あったかウエルねっと」の
設立から現在までの軌跡(予定)

講師担当 …横田八枝子(1期)



県社協からの情報★★★

平成21年度10期「福祉教育・ボランティア 学習推進員養成研修」 終了！

(養成研修の概要)

日 程：7月29日～9月7日までの7日間

認定者数：54名

※第1期～10期認定推進員総数 785名

※今年度新たな「ねっと会員」11名誕生

主な内容：

今年度も学習支援コース、地域推進コースに分かれて養成を行いました。実際の活動事例については、初日と最終日にあったかウエルねっとにお願いし、会員である臼倉さん(7期)、松嶋さん(2期)、木野さん(2期)にそれぞれ有意義な報告をいただきました。

福祉教育を進めていくのは社協の役割のひとつですが、ともに歩むパートナーとして、ねっとが存在していることの重要性を今さらながら、感じた研修会となりました。

【福祉教育をめぐる情勢に関連して】

推進員制度発足から10年がたちました。

制度をめぐる教育現場や地域の実情は日々変化しており、推進員に求められるものも変化していくものと考えています。

最近では、学校教育の場だけでなく地域福祉展開のひとつのツールとして、福祉教育の考え方が用いられたりしております。

それに合わせて推進員制度も当初発足した時代とは「環境」も、「課題」も、私たちの「年齢」も変わってきていますが、推進員さんには社会福祉協議会がすすめる地域福祉活動のサポーターとして、教育と福祉をつなぐ橋渡し役として、そして住民力の代名詞のひとつとして、これからも地域に寄り添いながら活動をお願いしたいと思います。

県社協福祉教育担当：地域福祉部 鈴木 哲也

世話人会は 第2土曜日

毎月第2土曜日午後1：00から、埼玉県社会福祉協議会彩の国すこやかプラザ3階にて、世話人会をおこなっています。

ねっと会員は、誰でもいつでも「世話人会」に、参加できます。県域の方との交流や情報交換ができて楽しいです。ぜひ参加してみてください。

ねっと世話人会1月の予定

(日 時) 平成22年1月9日(土)

午後1:00～4:00

(場 所) 彩の国すこやかプラザ

3階 団体交流室

会費未納の方へ 振込先のお知らせ

ねっと会費(年1000円)未納の方は、

次の振込先まで納入をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名 義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

山々を彩り私達の目を楽しませてくれた「紅葉」。夏に晴れた日が続く、急激に冷え込んだ年の紅葉は格別に美しいと言われます。

葉緑素が分解され色素が合成されるのです。気温が下がり根の働きも弱ってきた時、葉の付け根に「離層」という細胞の層ができ葉を切り離す準備をするのだそうです。離層が出来ると紅葉への幕開きです。寒い冬に木を守るための自然の摂理ですね。



発 行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称：あったかウエルねっと)

編 集：あったかウエルねっと世話人会(情報担当)

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティア・市民活動センター

(TEL：048-822-1435 FAX：048-822-1449)

担当：鈴木 (VC@fukushi-saitama.or.jp)